

【京一・麻酔・救急・集中治療コース】

診療科名：麻酔科・救急部

研修期間：2年

1. 研修コースについて

(1) 目的

全身管理に精通し、麻酔管理、集中治療をはじめとし、救命救急センターの初期治療等にその技能、技術の応用が出来る医師を養成する。

(2) 到達目標（目標、長期目標、一般目標、取得手技、コンセプト等）

ア. 一般目標

- 1) 標榜医、認定医を取得して、専門医を目指す。
- 2) 同時に日本救急医学会認定医、日本集中治療医学会の専門医を取得できるよう準備する。
- 3) 赤十字の一員として獲得した知識、技能を災害発生時に救護班の一員として役立てる。

イ. 行動目標

- 1) 手術室において標榜医基準（300例）の麻酔を経験する。
- 2) 日本麻酔科学会が作成した基本手技ガイドラインの研修医レベルを早期に達成し専門医レベル研鑽を行う。
- 3) 集中治療室において人工呼吸器による管理、各種血液浄化法、経皮的心肺補助法など重症患者の管理を研修すると共に麻酔科医の役割、入室基準を理解し管理業務を学ぶ。
- 4) 総合周産期母子医療センターでの緊急帝王切開の麻酔に習熟すると共に合併症を持つ患者の産科麻酔が実施できる。
- 5) NICUにおいて新生児のPDA手術の麻酔管理が実施できる。
- 6) 救命救急センターに搬入された重症患者の術前、術中、術後管理が実施できる。
- 7) 救命救急センターの研修において日本救急医学会認定医取得基準の症例、手技を経験する。
- 8) 日本赤十字社京都府支部に登録した救護班の訓練に参加し、救護班の出動要請時にはその一員として救護活動に従事する。

ウ. 取得手技

- 1) 厚生労働省認可標榜医に必要な全身麻酔 300例

- 2) 日本麻酔科学会認定医取得のために硬膜外麻酔、脊椎麻酔を相当数経験する。
- 3) 救急医療、集中治療に必要な手技（各学会の基準参照）

(3) 赤十字としての特色

ア. 救急医療

- 1) 併設の救命救急センターでの研修と日本赤十字社の主催する
- 2) BLS、ACLS講習会への参加（指導者として参加も含む）

イ. 災害医療

- 1) 日本赤十字社京都府支部主催の災害救護訓練に参加。
- 2) 常備救護班として登録し、出動の要請を受けた時には指導医と共に優先的に出動する。

ウ. 国際救援

- 1) 必要最小限の語学を身につけ出動に備える。

(4) 協力医療施設名

- ・日本赤十字社京都府支部
- ・京都市消防局

2. 取得資格(各学会による認定等)

- ・日本麻酔科学会認定医
- ・日本救急医学会認定医
- ・厚生労働省認定麻酔科標榜医